

(限 内 部) 1948

海軍公報(部内限)號外

〇 令 達

昭和十二年八月十二日(水)
海軍大臣官房

官房第四一三四號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十二年八月十日

航海長主管

海 軍 大 臣

艦 名		區 別		類 別		番 號		品 名		數 稱		量 記	
一等潜水艦 (伊號第五十一、五十二) (潜水艦ヲ除ク)				一	一	一	一	印	畫	紙	切	斷	器
呂號第三十三潜水艦		一	一	二	五			暗	室	燈	個	一	
呂號第三十四潜水艦		一	一	一	一			液	量	計	個	一	
		一	一	一	一			溫	度	計	個	一	
		一	一	一	一			現	像	槽	個	六	
		一	一	一	一			現	像	枠	個	八	

海軍公報(部内限)號外

1950

一等潜水艦
 (伊號第五十一、五十二
 潜水艦ヲ除ク)
 呂號第三十三潜水艦
 呂號第三十四潜水艦

海軍公報 (部内限) 號外

消 耗 品												
一	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四五	四	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一
耐水インキ	白色吸取紙	乾板	除定着劑	減感劑	コンスタール	純アルコール	鹽素紙	臭素紙	乾板	臭素紙	臭素紙	臭素紙
個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
一	一	二〇	一	一	一	四	一五	三四	二〇	一	一	一

三

1951

海軍公報 (部内限) 號外

一等潜水艦 (伊號第五十一、五十三 潜水艦ヲ除ク) 呂號第三十三潜水艦 呂號第三十四潜水艦						
消 耗 品						
一一二	一一三	一一四	一一五	一一六	一一七	一一八
同	定	補	減	漂	臭	硬
丙	甲	乙	藥	劑	素	膜
個	個	個	組	個	個	個
一一三	一一三	一一三	一一三	一一三	一一三	一一三

四

海軍公報

(部内限) 第二千六百八十七號

海軍大臣官房

昭和十二年八月十二日(木)

○令 達

官房機密第二九五一號 昭和十二年八月十一日 官房機密四三〇七号
 官房機密第二九五一號 昭和十二年八月十一日 官房機密四三〇七号
 當分ノ間海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ換テ第三
 艦隊所屬艦船經費支拂ノ爲佐世保海軍經理部員ヲ分
 任官吏トス

昭和十二年八月一日

海軍大臣

官房第四一七二號

造船若ハ造兵ノ事業ニ必要ナル機械器具若ハ材料又ハ
 其ノ事業ノ設備ニ必要ナル工事ノ材料ヲ買入ルトキ
 ハ時局ノ影響ノ存スル間會計法第三十一條第二項ノ規
 定ニ依リ隨意契約ニ依ルコトヲ得
 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ海軍省經理局長ヲシテ
 之ヲ通牒セシム

昭和十二年八月十一日

海軍大臣

官房第三〇九號ノ一一

昭和十二年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十二年八月十二日

海軍大臣

歳出臨時部

款	項	目	解	疏
(水陸整備費)(事務費)				會計科目 電信略號
×賞	與			ヨネ

○通牒

經契約第一〇六號

昭和十二年八月十一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

昭和十二年官房第四一七二號ノ適用ニ

海軍公報(部内限) 第二千六百八十七號

昭和十二年八月十二日

七〇五

關スル件通牒

隨意契約ニ關シ今般海軍大臣大藏大臣間ニ協議相成リ
首題ノ令達有之候處本令ノ適用ハ左記ニ依ルベキ趣旨
ニ付了知相成度

記

- 一、特ニ隨意契約ニ依ル必要アル場合ニ限ルコト
- 二、會計法規ノ他ノ條項ニ依リ得ルモノニ付テハ當該
條項ヲ適用スルコト
- 三、海軍購買名簿登録品以外ノ物品ニ付テモ見積合ヲ
行フヲ原則トスルコト

○ 辭 令

海軍造艦少佐 濱崎 諒(艦 本)
 驅逐艦朝潮審議委員ヲ命ス
 海軍機關中佐 村上 竹夫
 驅逐艦朝潮審議委員ヲ免ス(以上ハ海軍艦政本部)

○ 雜 款

○郵便物發送先
 第一、第二聯合航空隊司令部、鹿屋及木更津航空隊

(本隊)宛

自今

佐世保郵便局氣付

第十六驅逐隊(芙蓉、朝顔、刈萱)宛
 當分ノ間 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

○ 懲 罰

○ 艦裝員事務所移轉
 軍艦熊野艦裝員事務所ヲ吳海軍工廠構内ニ設置中ノ處
 本月八日神戸海軍監督官事務所内ニ移轉セリ

懲罰言渡書

1954

海軍公報（部内限）第二千六百八十七號

昭和十二年八月十二日

七〇七

○艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ヲ要セズ

○八月十二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、大鯨、鳥海、愛宕、那珂▲、阿武隈▲

▷山城、春日

沖風▲、峯風▲、□島風▲、沙風▲、灘風▲

羽風▲、秋風▲、□太刀風

伊七、呂五八▲、□伊二四、伊二三

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

夕風 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲

(雁)▲

(涼風)▲

澤風▲

帆風▲

大泊▲

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、▷扶桑、

青葉、衣笠、伊勢

夕顔

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

伊二二、伊二一、□呂三三、呂三四、

伊五三、伊五四、□伊五八、伊五六、

伊五七、伊七一

石廊、室戸、朝日▲

(蒼龍)▲(千歲)▲(熊野)▲

【大阪】

古鷹▲、駒橋

(滿潮)▲(山雲)▲

【神戸】

伊六三▲、伊五九▲、□伊七二、伊七三

(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

能登呂▲

【相生】

能登呂▲

【因島】

薄▲、葛、藤

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲

白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

(春雨)▲(大潮)▲

【佐世保】

赤城▲、加古、長良、▷北上、▷金剛、▷常磐、

龍驤、風翔

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、□蓼▲

菱▲、蓬▲、□陸月、卯月、彌生、如月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六四、□呂六八、呂六三、

呂六七、呂六五、呂六六、伊六〇、

伊六八、伊六九、伊七〇、□伊二、伊四、

伊千鳥、初雁、友鶴、真鶴

敷島▲、知床、鶴見、開宮

(朝潮)▲(夏雲)▲(伊七四)▲

足柄、羽黒、那智

【寺島水道】▷足柄、羽黒、那智

雄、鷲、鳩

【長崎】三隈▲

【馬公】嵯峨▲

疾風、□松風、春風、旗風

【釜山】拂

海軍公報(部内限) 第二千六百八十七號

昭和十二年八月十二日

七〇九

【サイパン】 膠州

【旅順】 早鞆

【塘沽】 早鞆

【大沽沖】 葵、萩

【青島】 天龍、龍田

【上海】 芙蓉、朝顔、刈萱

【馬尾】 出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、遠、栗

【厦門】 若竹、朝風

【汕頭】 吳竹

【廣東】 早苗

【アヲネ】 磐手、八雲

【作業地】 勝利、淀、木曾、長鯨、神威、神通、由良、名取、鬼怒、摩耶、川内、高雄、迅鯨、妙高、多摩、加賀、沖島、白鷹、神風、野風、波風、沼風、初雪、白雪、吹雪、綾波、磯波、浦波、敷波、曉、漣、狹霧、楡、萩、朝風、桐、文月、皐月、水無月、長月、天霧、朝霧、夕霧、隴、曙、潮、望月、夕月、菊月、三日月、夕立、村雨、五月雨、時雨、有明、白霧、夕暮、初霜、子日、若葉、初春、夕風、響、雷、電

伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、伊六五

【航海中】

洲崎 (五日横須賀發「オハ」)

追風 (八日馬公發「厦門」)

隱戸 (十日吳發「佐世保」)

陸奥、長門、日向、霧島、榛名、五十鈴、嚴島、山風、海風、江風、矢風、伊一、伊三、伊六、伊五、攝津 (十一日佐世保發「鎮海」)

大井 (十一日寺島水道發「鎮海」)

佐多 (十一日馬公發「佐世保」)

野島 (十二日吳發「神戸」)

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四、掃二六、掃二四、掃二三、掃一五、掃一七、掃一八、鴻、鶴、隼、鴨、襟裳、鳴戸

(辭令公報添)

1957

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千六百八十八號

海軍大臣官房

昭和十二年八月十三日(金)

○令 達

官房第一六五三號ノ二

當分ノ間艦船部隊等支那ニ於テ糧食品ヲ購買スルトキハ左記ニ依ルコトヲ得

昭和十二年八月一日

海 軍 大 臣

記

一、海軍給與令施行細則第四百十條ニ依ル請負人アル地方ニ於テ契約單價ニ依ルコト困難ニシテ特ニ必要アリト認ムルトキハ本年官房第一六五三號ノ代價以內ニテ直買スルコトヲ得

前項ニ依リ難キトキハ時價ヲ以テ購買スルコトヲ得

二、前號ノ請負人ナキ地方ニ於テ本年官房第一六五三號ノ代價ニ依リ難キトキハ時價ヲ以テ購買スルコトヲ得

三、時價ニ依リ購買シタルトキハ其ノ品名、數量、代價、購入地及供給者ヲ所管海軍軍需部ヲ經テ海軍省軍需局長ニ報告スベシ

(參照) 官房第一六五三號ハ昭和十二年度間直買スル糧食品代價ノ件ナリ(昭和十二年四月八日海軍公報)

官房機密第三〇四五號 昭和十二年官房第一六五三號ニテ本号トモ 當分ノ間吳鎮守府第二特別陸戰隊及佐世保鎮守府第一特別陸戰隊ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ上海海軍特別陸戰隊主計長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十二年八月十日

海 軍 大 臣

官房機密第三二二一號

海軍軍需部ハ必要ニ應ジ左記ニ依リ其ノ保管スル航空原料揮發油「エチルフルード」ヲ混ジ航空八五揮發油又ハ航空八七揮發油トシテ艦船部隊ニ供給スルコトヲ得

海軍公報(部内限) 第二千六百八十八號

昭和十二年八月十三日

七一

昭和十二年八月十三日

海軍大臣

記

- (一) 混合ニ當リテハ使用セシ航空原料揮發油並ニ「エ
チルフルード」ヲ拂出シ生産數量ヲ航空八五揮發油
又ハ航空八七揮發油トシテ受入ルルモノトス
- (二) 成品ノ單價ハ海軍省軍需局長ノ通牒スル單價トス

○ 辭令

- 海軍中佐 三浦 速雄(艦本)
 - 海軍少佐 廣 瀬 弘(雁)
 - 海軍中尉 竹山 百合人(同)
 - 海軍機關中佐 石塚 正俊(艦本)
 - 海軍機關中尉 森田 英男(雁)
 - (各通) 海軍造船中佐 藁谷 英彦(艦本)
 - 海軍造船大佐 坂口 礫三(艦本監)
 - 海軍技師 梅谷 重三郎(同)
 - 同 關 甚作(同)
- 水雷艇雁審議委員ヲ命ス(以上ハ海軍艦政本部)

○ 雜款

○司令潜水艦變更
第十九潜水隊司令ハ本月九日司令潜水艦ヲ伊號第五十
七潜水艦ヨリ伊號第五十六潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

第一水雷戰隊司令部及各艦宛

吳鎮守府第二特別陸戰隊宛

自今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」
指定ヲ要セズ

○八月十三日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、大鯨、鳥海、愛宕、那珂▲、阿武隈▲

▷山城、春日

沖風▲、峯風▲、□島風▲、汐風▲、灘風▲

羽風、秋風、□太刀風

伊七、呂五八▲、□伊二四、伊二三

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

夕風 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(涼風)▲

【大湊】

帆風▲

【函館】

大泊▲

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、▷扶桑、

青葉、衣笠、伊勢

夕顔

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

伊三三、伊二二、□呂三三、呂三四、

伊五三、伊五四、□伊五八、伊五六、

伊五七、伊七一

石廊、室戸、朝日▲

(蒼龍)▲(千歳)▲(熊野)▲

【大阪】

古鷹▲、駒橋

【神戸】

(滿潮)▲(山雲)▲

【相生】

能登呂▲

【因島】

薄▲、葛、藤

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲

【佐世保】

白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

(春雨)▲(大潮)▲

赤城▲、加古、長良、▷北上、▷金剛、▷常磐、

【長崎】

三隈▲

【馬公】

嵯峨▲

【長崎】

白鷹

【馬公】

梨▲、竹、榧▲、桃▲、柳▲、檜▲、荳▲、□麥▲、

【長崎】

菱▲、蓬▲

【馬公】

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

【長崎】

呂六一、呂六二、呂六四、□呂六八、呂六三、

【馬公】

呂六七、呂六五、呂六六、伊六〇、

【長崎】

伊二六、伊四

【馬公】

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四、

【長崎】

掃一六、掃一四、掃二三、掃二五、掃一七、掃一八、

【馬公】

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、雉、鷺、鳩、

【長崎】

鴻、鶴

【馬公】

敷島▲、間宮、隱戸

海軍公報(部内限) 第二千六百八十八號

昭和十二年八月十三日

【鎮海】

疾風、松風、春風、旗風
陸奥、長門、日向、霧島、榛名、五十鈴
迅鯨、大井
山風、海風、江風、矢風
伊一、伊三、伊六、伊五、伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、伊六五
攝津

【塘沽】

葵、萩

【大沽沖】

天龍、龍田

【青島】

芙蓉、朝顔、刈萱

【上海】

出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、鳥羽、二見、保津、堅田

【馬尾】

若竹、朝風

【厦門】

夕張

【汕頭】

吳竹

【廣東】

早苗

【サイパン】

膠州

【アヲネ】

磐手、八雲

【作業地】

勝力、淀、木曾、長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、川内、高雄、摩耶、足柄、羽黒、那智、龍驤、鳳翔、妙高、多摩、加賀、沖島、神威、殿島、神風、野風、波風、沼風、初雪、白雪、吹雪、綾波、磯波、浦波、敷波、曉、漣

【航海中】

洲崎 (五日横須賀發「オハ」)
佐多 (十一日馬公發「佐世保」)
柿 (十三日作業地發「鎮海」)

狹霧、榆、葦、梅、文月、皐月、水無月、長月、天霧、朝霧、夕霧、臘、曙、潮、望月、夕月、菊月、三日月、夕立、村雨、五月雨、時雨、有明、白露、夕暮、初霜、子日、若葉、初春、夕風、朝風、響、雷、電、追風、陸月、卯月、彌生、如月、隼、鴨、襟裳、鳴戸、早靱、知床、鶴見

1961

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千六百八十九號

昭和十二年八月十四日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第三一四一號

當分ノ間海軍給與令第八十一條第二項ニ依リ給スル食糧品(生糧品ヲ含ム)ハ海軍給與令施行細則第三百三十一條第三項ノ規定ニ拘ラズ必要ニ應ジ一部糧食品ヲ給スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ價格ニ相當スル食料ヲ減給ス但シ糧食品ノ單價ハ海軍省軍需局長ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ依リ糧食品ヲ給與シタルトキハ海軍給與令施行細則第三百三十一條第四項ノ規定ヲ準用ス

昭和十二年八月十四日

海軍大臣

官房機密第三一四二號

臺灣、朝鮮、關東州及支那ニ在ル艦船部隊ニ於テ今次事變ニ關シ特ニ朝食ニ辨當ヲ供食スル必要アル場合ニ限リ味噌七五瓦ニ換ヘ左記ノ内適宜ノ一品種ヲ給スル

コトヲ得

昭和十二年八月十四日

海軍大臣

骨付生獸肉	一五〇瓦
骨付生鳥肉	一五〇瓦
骨付生魚肉	一八〇瓦
骨付塩獸肉	一五〇瓦
無骨生獸肉	一二〇瓦
無骨塩獸肉	一二〇瓦
無骨生魚肉	一三〇瓦
貯藏獸肉	一〇〇瓦
貯藏魚肉	一〇〇瓦
貯藏鳥肉	一〇〇瓦
貯藏魚肉	一〇〇瓦
貯藏魚肉	一〇〇瓦
貯藏魚肉	一〇〇瓦
煙獸肉	九〇瓦

海軍公報(部内限) 第二千六百八十九號

昭和十二年八月十四日

七一五

乾魚肉	八〇瓦
鶏卵	一一〇瓦
燒魚肉	一一〇瓦

官房機密第二九一九號ノ二
本年官房機密第二九一九號中北支事件費ヲ以テ經費
支辨スベキ各部左ノ通改ム

昭和十二年八月九日

海軍大臣

- 一 特設鎮守府特別陸戰隊、特設聯合航空隊司令部、特設航空隊、木更津海軍航空隊、鹿屋海軍航空隊、特設防備隊、特設運送船
- 二 第一、第二艦隊ノ艦船、聯合艦隊附屬艦船、新ニ第三艦隊ニ編入又ハ附屬ノ艦船及特ニ派遣セラルル艦船
- 三 前二號以外ノ關係各廳

○通牒

軍需糧第八七號
今回官房機密第三一四一號ニ依ル糧食品單價ハ本年軍需糧第三八號ヲ適用ス



昭和十二年八月十四日

海軍省軍需局長

(參照) 軍需糧第三八號ハ給與令施行細則第三百三十一條
第三項ニ依ル糧食品單價ノ件ナリ(昭和十二年
四月八日海軍公報)

經豫機密第三號ノ四

昭和十二年八月九日

海軍省經理局長

關係各支出官
資金前渡官吏ノ殿

昭和十二年度北支事件費整理區分ノ件通牒
本年經豫機密第三號ノ二昭和十二年度北支事件費整理
區分別紙ノ通改メラレ候
追テ他費目ヲ以テ支出濟ノモノハ本區分ニ依リ科目
更正相成度
(別紙五頁添)

○辭令

海軍大尉 中山 義則(艦本)
驅逐艦朝潮審議委員ヲ命ス

1963

海軍中佐 鶴尾 定雄
驅逐艦朝潮審議委員ヲ免ス(以上ハ海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第二十三驅逐隊司令ハ昨十三日司令驅逐艦ヲ望月ヨリ
菊月ニ變更セリ

○郵便物發送先
第四水雷戰隊司令部、軍艦木曾、第六驅逐隊、第十
驅逐隊、第十一驅逐隊宛
當分ノ間 佐世保郵便局氣付

特務艦隱戸宛
自 今 佐世保郵便局氣付

○正誤(不)
本月十二日辭令欄一行目「海軍造船少佐」ハ「海軍造
兵少佐」ノ誤

海軍公報(部内限) 第二千六百八十九號 昭和十二年八月十四日

七二七

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲フ
定▲ヲ▲要▲セ▲ズ

○八月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨、島海、愛宕、那珂▲、阿武隈▲
▽山城、春日

沖風▲、峯風▲、▽島風▲、沙風▲、灘風▲

羽風、秋風、▽太刀風

伊七、呂五八▲、▽伊二四、伊二三

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】 夕風 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九

(雁)▲

(涼風)▲

澤風▲

帆風▲

大泊▲

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、▽扶桑、

青葉、衣笠、伊勢

夕顔

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

伊二二、伊二一、▽呂三三、呂三四、

伊五三、伊五四、▽伊五八、伊五六、

伊五七、伊七一

石廊、朝日▲

(蒼龍)▲(千歳)▲(熊野)▲

【大阪】

古鷹▲、駒橋

【神戸】

(滿潮)▲(山雲)▲ 伊六三▲、伊五九▲、▽伊七二、伊七三

【相生】

(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲ 能登呂▲

【因島】

▽薄▲、葛、藤

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲ 伊白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

【佐世保】

(春雨)▲(大潮)▲ 赤城▲、加古、長良、▽北上、▽金剛、▽常磐、

白鷹、▽妙高、多摩、▽足柄、羽黑、那智

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、菫▲、▽麥▲

菱▲、蓬▲、皐月、長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六四、▽呂六八、呂六三、

▽呂六七、呂六五、呂六六、伊六〇、

伊二、伊四 伊六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四、

▽掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八

▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴

▽鴻、鶴 敷島▲、間宮、隱戸

(朝潮)▲(夏雲)▲(伊七四)▲

【長崎】 三隈▲

【馬公】 嵯峨▲

▽松風、春風

【鎮海】陸奥、長門、日向、霧島、榛名、五十鈴、

迅鯨、大井、

山風、海風、江風、矢風、

伊一、伊三、伊六、伊五、伊六八、

伊六九、伊七〇、伊六一、伊六二、

伊六四、伊六七、伊六六、伊六五、

攝津

【釜山】楡、柿

【塘沽】楡、柿

【大清沖】葵、菽

【青島】天龍、龍田、芙蓉、朝顔、刈萱

【上海】出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、

鳥羽、二見、保津、堅田、

逆、栗

【馬尾】若竹、朝風

【厦門】夕張

【廣東】早苗

【サイパン】膠州

【オハ】洲崎

【パレルモ】磐手、八雲

【作業地】勝力、淀、木曾、長鯨、神通、由良、

名取、鬼怒、川内、高雄、摩耶、龍驤、

鳳翔、加賀、沖島、神威、巖島、

神風、野風、波風、沼風、初雪、白雪、

吹雪、綾波、磯波、浦波、敷波、曉、漣、
狹霧、葦、梅、文月、水無月、天霧、
朝霧、夕霧、臘、曙、潮、菊月、望月、
夕月、三日月、夕立、村雨、五月雨、
時雨、有明、白露、夕暮、初霜、子日、
若葉、初春、夕風、朝風、響、雷、電、
疾風、追風、陸月、卯月、彌生、如月、
襟裳、鳴戸、早鞆、知床、鶴見

【航海中】

佐多 (十一日馬公發—佐世保—)

吳竹 (十三日厦門發—馬尾—)

旗風 (十三日馬公發—福州—)

隼 (十三日基隆發—佐世保—)

野鳥 (十三日神戶發—横須賀—)

雄鷲 (十四日佐世保發—寺島水道—)

室戸 (十四日吳發—佐世保—)

(本日普通公報ナシ、附録一頁、別紙五頁、辭令公報添)

1966

(昭和十二年八月十四日公報(部内限)別紙)

昭和十二年度北支事件費整理區分

- 一 北支事件費支辨ノコトニ指定セラレタル各部ニ於テ要スル經費中次號ニ掲グルモノヲ北支事件費支辨トス
- 二 北支事件費支辨ノ經費ハ左ノ區分ニ依ル

イ 俸 給

- (一) 特設鎮守府特別陸戰隊員、特設聯合航空隊司令部員、特設航空隊員、木更津海軍航空隊員(殘留隊員ヲ除ク)、鹿屋海軍航空隊員(同上)及特設防備隊員ノ在勤加俸又ハ航海加俸
- (二) 第一、第二艦隊ノ艦船、聯合艦隊附屬艦船及新ニ第三艦隊ニ編入又ハ附屬ノ艦船乗員ノ航海加俸但シ支辨期間ハ八月一日ヨリ特ニ指定スル日迄トス
- (三) 特ニ派遣セララル艦船乗員ノ航海加俸但シ支辨期間ハ本邦最終港灣出港ノ日ヨリ任務終了本邦港灣ニ歸着(一時歸着ヲ除ク)ノ日迄トス
- (四) 特設運送船乗員ノ航海加俸
- (五) 被召集員ノ俸給、在勤加俸、航海加俸、航空加俸及特別加俸

□ 應 費

- (一) 特命ニ依ル通信費、備品費、圖書及印刷費、筆紙墨文具及消耗品

- ハ 雜給及雜費
- (二) 召集ニ要スル郵便電信料
- (一) 特設鎮守府特別陸戰隊、特設聯合航空隊司令部、特設航空隊、木更津海軍航空隊（殘留隊ヲ除ク）、鹿屋海軍航空隊（同上）、特設防備隊、特設運送船及新ニ第三艦隊ニ編入又ハ附屬ノ艦船ヨリノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費竝ニ同上ヘノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費
- 前項ノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費ハ本年經豫第三號ノ四八ニ依リ滿洲事件費支辨ノコトニ定メラレタル各部ヘノ赴任、轉勤轉乘ノ場合ヲ含ミ同上ヨリノ赴任、轉勤轉乘ノ場合及本年經豫第三號ノ四六ニ依リ航空隊設備費支辨ノコトニ定メラレタル赴任、轉勤轉乘ノ場合ヲ除ク
- (二) 特設鎮守府特別陸戰隊、特設聯合航空隊司令部、特設航空隊、木更津海軍航空隊（殘留隊ヲ除ク）、鹿屋海軍航空隊（同上）及特設防備隊ノ移動ニ要スル旅費
- (三) 特命ニ依ル赴任旅費、轉勤轉乘旅費及出張旅費
- (四) 被召集員ノ旅費、勞働手當、武裝手當及外宿手當
- (五) 臨時使用スル囑託員、雇員及傭人ノ報酬金、給料竝ニ特ニ要スル給與等
- (六) 召集ニ要スル吏員旅費及使丁賃
- (七) 特ニ要スル宿舍手當及雜費

ニ 衣糧費

- (一) 特命ニ依ル糧食費、被服費及雜費
 (二) 被召集員ノ食料

ホ 造船造兵及修理費

特命ニ依ル分

ヘ 患者費

- (一) 特設鎮守府特別陸戰隊、特設聯合航空隊司令部、特設航空隊、木更津海軍航空隊（殘留隊ヲ除ク）、鹿屋海軍航空隊（同上）、特設防備隊及特設運送船ニ於テ要スル療用品費、藥劑費、傳染病豫防及消毒諸費並ニ依託患者費

- (二) 新ニ第三艦隊ニ編入又ハ附屬ノ艦船ニ於テ要スル療用品費、藥劑費、傳染病豫防及消毒諸費並ニ依託患者費

- (三) 特ニ派遣セララル艦船ニ於テ要スル療用品費、藥劑費、傳染病豫防及消毒諸費並ニ依託患者費

- (四) 特命ニ依ル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒費、依託患者費並ニ雜費

ト 艦營費

- (一) 特命ニ依ル艦營需品、燃料及保管運搬費

- (二) 特設鎮守府特別陸戰隊、特設聯合航空隊司令部、特設航空隊、木更津海軍航空隊（殘留隊ヲ除ク）、鹿屋海軍航空隊（同上）、特設防備隊及特設運送船ニ於テ要スル雜給及雜費
- (三) 第一、第二艦隊ノ艦船及聯合艦隊附屬艦船ニ於テ要スル航海増給
- (四) 新ニ第三艦隊ニ編入又ハ附屬ノ艦船ニ於テ要スル雜給及雜費
- (五) 特ニ派遣セララルル艦船ニ於テ要スル雜給及雜費
- (六) 特ニ要スル雜給及雜費
- 子 水路費
 特命ニ依ル分
- リ 教育諸費
 特命ニ依ル分
- 又 接待費
 特命ニ依ル分
- ル 機密費
 特ニ要スル分
- ヲ 船舶費

1970

特ニ備入ノ船舶借料

ワ 營繕費

特命ニ依ル分

三 本整理區分ニ定ムル事項ニシテ本年經豫第三號ノ四八ニ依ル滿洲事件費整理區分ニ定ムル事項ト競合ス
ルモノニ付テハ本整理區分ニ依ル

五

海軍公報

(部内限) 第二千六百九十號

海軍大臣官房

昭和十二年八月十六日(月)

○ 令 達

官房機密第三一七一號 昭十二年官房機密第三一七一號ヲ修正ス
海軍軍事普及部臨時報道事務處理規程左ノ通

昭和十二年八月十五日

海 軍 大 臣

海軍軍事普及部臨時報道事務處理規程

第一條 今次事變中海軍軍事普及部ハ本規程ニ依リ今

次事變ニ關スル情報、宣傳、言論機關指導統制、新

聞雜誌檢閲等ニ關スル事務ヲ掌ルモノトス

第二條 海軍軍事普及部臨時報道事務處理ノ爲別表ノ

如ク臨時編制ヲ定ム

第三條 海軍軍事普及部臨時報道事務處理ニ關シテハ

海軍省處務規程第三十九條及第四十一條ノ規定ヲ準

用ス但シ至急ヲ要スル事務處理ニ關シテハ部長ハ關

係局部員タル報道部員ヲ通シ當該局部下ノ連絡ニ代

フルコトヲ得

第四條 報道部員ハ部長ノ命ヲ承ケ服務ス

(註)

一、別表人名中現ニ軍事普及部委員ニアラザル者ハ今次事變中軍事普及部委員ニ任命セララルモノトス

二、海軍軍事普及部規程ト本規程ト抵觸スルモノハ本規程ニ依ル

三、部外ト交換ヲ要スル公文書ハ其ノ内容ニ應ジ海軍省職員ノ名ヲ以テ起案シ關係局部ニ回覽スルモノトス

(別表一葉添) (七二四頁、增ニ添付)

○ 通 牒

官房第四二七二號

昭和十二年八月十六日

各 應 長 殿

海 軍 次 官

海軍公報(部内限) 第二千六百九十號

昭和十二年八月十六日

七二二

死歿者功績具申ニ關スル件通牒

中華民國、滿洲國竝ニ其ノ沿海ニ於テ今次事變ニ關スル勤務ニ從事セル海軍軍人軍屬ニシテ昭和十二年七月七日以降ノ死歿者ニ對シテハ其ノ都度大正三年達第六十七號海軍功績調査規程ニ依リ功績調査書類ヲ調製シ速ニ具申方取計相成度
追テ功績無之向ハ其ノ旨通知相成度

○ 辭令

(各通) 海軍技師 山田 忠雄
囑託 戸上 虎次
筆生 神山 善智

上海へ出張ヲ命ス(ハ前海軍省)

(各通) 江見澤喜三郎
森 博
矢作 保次
下津 久男

海軍省事務ヲ囑託シ報酬月額六拾五圓ヲ給ス
但シ特設寫眞班ニ於テ服務シ部内限判任官ヲ以テ
待遇セラル(ハ前海軍大臣官房)

佐世保海軍經理部部員

海軍主計少佐 藤原 一二
第三艦隊ニ於ケル經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(ハ前海軍省經理局支出官)
海軍主計大尉 阿比留 幸助
交通船小鷹ニ要スル經費支拂ノ爲第三艦隊臨時分任出納官吏ヲ命ス
海軍主計中尉 松下 通雄
同右臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上ハ前同)
海軍少佐 香西 弓夫
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(ハ前海軍航空本部)

○ 雜款

○ 旗艦指定
第一艦隊司令長官ハ昨十五日第一潜水戰隊ノ旗艦ヲ一時榛名ニ指定セリ

○ 郵便物發送先
吳鎮守府第一特別陸戰隊宛
自今 門司郵便局氣付

○艦船所在

指印ハハホフ
定ヲ要セズ

○八月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨、鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈▲

△山城、春日

沖風▲、峯風▲、伊島風▲、汐風▲、灘風▲

羽風▲、秋風▲、伊太刀風▲、夕風▲

伊七▲、呂五八▲、伊二四▲、伊二三▲

富士▲、尻矢、野島

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九▲

【長浦】

(雁)▲

涼風▲

澤風▲

帆風▲

大泊▲

矢矧▲、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、△扶桑、

青葉、衣笠、伊勢

夕顔

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

伊二二、伊二一、伊三三、呂三四、

伊五三、伊五四、伊五八、伊五六、

伊五七、伊七一

石廊、朝日▲

(蒼龍)▲(千歳)▲(熊野)▲

古鷹▲

【大阪】

【神戶】

(滿潮)▲(山雲)▲
伊六三▲、伊五九、伊七二、伊七三

(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

能登呂▲

【相生】

因島▲、薄▲、葛、藤

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲

白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

(春雨)▲(大潮)▲

【佐世保】

赤城▲、加古、長良、△北上、△金剛、△常磐、

△妙高、多摩、摩耶、△陸奥、長門、日向、

△霧島、△榎名、五十鈴、△迅鯨、巖島、

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、伊菱▲、

菱▲、蓬▲、△山風、海風、江風、矢風、

△綾波、敷波、夕霧、△隴、曙、潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六四、△呂六八、呂六三、

呂六七、呂六五、呂六六、伊六〇、

伊二、伊四、伊一、伊三、伊六、伊五、

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、

伊六五

掃三▲

千鳥、初雁、友鶴▲、真鶴、伊鴻

敷島▲、隱戸、攝津、室戸、早瀬

(朝潮)▲(夏雲)▲(伊七四)▲

【惠美須港】

問宮

【長崎】	三隈▲	五月雨、□時雨、有明、白露、夕暮、□初霜、 子日、若葉、初春、□夕風、朝風、□響、雷、 電、□疾風、追風、□陸月、卯月、彌生、如月、 □掃六、掃五、掃一、掃四、掃二、□掃一六、 掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八、 □雉、鷺、鳩、鶺鴒、 鳴戸、鶴見、知床
【馬公】	嵯峨▲	【航海中】
【基隆】	松風、春風、朝風	佐多 (十一月馬公發 佐世保へ)
【鎮海】	栴、萩	隼 (十三日基隆發 佐世保へ)
【釜山】	楡	磐手、八雲 (十四日「パレルモ」發 「ナポリ」へ)
【塘沽】	葵、萩	洲崎 (十四日「オハ」發 徳山へ)
【大沽沖】	天龍、龍田	大井 (十五日佐世保發 吳へ)
【青島】	芙蓉、朝顔、刈萱	
【上海】	出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、 鳥羽、二見、保津、墜田	
【馬尾】	若竹、吳竹	
【厦門】	夕張	
【廣東】	早苗	
【サイパン】	膠州	
【オハ】	襟裳	
【作業地】	勝力、淀、木曾、長鯨、神通、由良、 名取、鬼怒、川内、高雄、龍驤、鳳翔、 加賀、沖島、神威、白鷹、駒橋、足柄、 羽黒、那智	
	神風、野風、波風、沼風、初雪、白雪、 吹雪、磯波、曉、漣、浦波、狹霧、葦、梅、 文月、水無月、長月、皐月、天霧、朝霧、 菊月、望月、夕月、三日月、夕立、村雨、	

(別表一葉、辭令公報添)



海軍公報

(部内限) 第二千六百九十一號

海軍大臣官房

昭和十二年八月十七日(火)

○令 達

官房第九六六號ノ三
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス
昭和十二年八月十七日

海 軍 大 臣

船 種	公稱番號	舊 所 屬	新 所 屬	定 數	別 記
重油船 (百五十噸級)	第三〇三號	吳海軍 軍需部	旅順要港部 附屬	臨時	記事

○通 牒

海人機密第一號ノ二八六
昭和十二年八月十六日

海軍省人事局長

關係所轄長殿
戰傷者ノ症狀通報ニ關スル件申進

海軍公報(部内限) 第二千六百九十一號

昭和十二年八月十七日

七二五

今回ノ事變ニ關シ負傷シタル者ノ症狀通報ニ關シ左記ノ通定メラレ候條了知相成度

記

一、所轄長ハ負傷シタル者ノ症狀(負傷名、負傷程度、豫後)ヲ士官ニ在リテハ海軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテハ海軍省人事局長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ作戦通信ノ情況ニ應ジ時機ヲ見計ヒ電報スルモノトス

海軍省人事局長又ハ海軍人事部長前項ノ電報ヲ受理シ必要ト認ムルトキハ士官ニ在リテハ海軍省人事局長ヨリ特務士官以下ニ在リテハ海軍人事部長ヨリ速ニ之ヲ本人ノ家族ニ通報スルモノトス

負傷シタル者ノ入院又ハ入室後ノ症狀ニ關シテハ隨時前二項ノ區分ニ依リ通報スルモノトス

二、軍屬ニ關シテハ右ニ準ズ

○雜 款

海軍公報(部内限)第二千六百九十一號 昭和十二年八月十七日

七二六

○旗艦變更
吳警備戰隊司令官ハ昨十六日旗艦ヲ一時扶桑ヨリ球磨ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更
第十五驅逐隊司令ハ本月二日司令驅逐艦ヲ薄ヨリ藤ニ變更、即日薄ニ復歸セリ

○特設運送船神祥丸行動豫定

地名	着	發
佐世保	八月十六日	八月十三日
基隆	八月十八日	八月十七日
馬公	八月二十日	八月二十日
高雄	八月二十二日	八月二十一日
基隆	八月二十四日	八月二十四日
古江	八月二十六日	八月二十七日
佐保	八月二十八日	八月三十一日
西世保	九月一日	九月二日
吳	九月三日	

○郵便物發送先
第二艦隊司令部、軍艦高雄宛

當分ノ間 旅 順

第一掃海隊(掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六)及
特務艦室戸宛
自今 佐世保郵便局氣付

1980

(部) 内 (限)

海軍公報

(部内限) 第二千六百九十二號

海軍大臣官房

昭和十二年八月十八日(水)

○令達

官房機密第二八八〇號ノ二
 當分ノ間海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ本更
 津海軍航空隊本隊及鹿屋海軍航空隊本隊ノ經費ハ第三
 艦隊所屬艦船ニ準ジ主任出納官吏ヲ第三艦隊司令部附
 主計科士官トス

昭和十二年八月一日

海軍大臣

○辭令

海軍省事務囑託 信夫 淳平
 兼テ第三艦隊幕僚事務ヲ囑託ス
 但シ報酬年額七千貳百圓ヲ給ス(依テ海軍省)
 (各通) 海軍技師 吉田 憲太郎
 海軍技手 高橋 義一
 上海へ出張ヲ命ス(十八日同)

○雜款

○旗艦變更
 吳警備戰隊司令官ハ昨十七日旗艦ヲ球磨ヨリ扶桑ニ變
 更セリ

○司令潜水艦變更
 第八潜水隊司令ハ本月十五日司令潜水艦ヲ一時伊號第
 六潜水艦ヨリ伊號第五潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

官房機密第三二二三號 昭和十二年八月一日
 今次事變中第三艦隊所屬艦船部隊ニ要スル艦營需品ハ
 艦營需品經理規程第十二條ノ規定ニ拘ラズ必要數ヲ限
 リ告知豫算外ヲ以テ供給又ハ直買スルコトヲ得但シ此
 ノ場合ニ於テハ艦營需品經理規程第二十一條ニ準シ通
 ス

昭和十二年八月十七日

海軍大臣

海軍公報(部内限) 第二千六百九十二號

昭和十二年八月十八日

七二九

1981

海軍公報(部内限)第二千六百九十二號 昭和十二年八月十八日

七三〇

軍艦大鯨宛

八月十九日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀
共ノ後ハ佐世保郵便局氣付

○通信

海軍通信略語中左ノ通改正シ昭和十二年九月一日ヨリ
實施セラル

頁相當欄ニ鉛筆記入ノコト

改正

略語

原

語

頁數欄

追加

ハヒザ

哈爾濱駐在武官

發信用
受信用
二四
七

(海軍省軍務局)

○艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○八月十八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、鳥海、愛宕、那珂▲、阿武隈▲、▽山城、春日、駒橋

沖風▲、峯風▲、▽島風▲、汐風▲、灘風▲、羽風、秋風、▽太刀風、夕風

伊七、呂五八▲、▽伊二四、伊二三

富士▲、尻矢、野島

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九

【長浦】

(雁)▲

(涼風)▲

浦賀▲

館山▲

大湊▲

函館▲

吳▲

球磨

夕顔

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

▽伊二二、伊二一、▽呂三三、呂三四、

▽伊五三、伊五四、▽伊五八、伊五六、

伊五七、伊七一

石廊、朝日

(蒼龍)▲(千歲)▲(熊野)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲(山雲)▲

▽伊六三▲、伊五九、▽伊七二、伊七三

(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

能登呂

▽薄▲、葛、藤

平戸、淺間

江風

吾妻▲

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

(春雨)▲(大潮)▲

赤城▲、加古、長良、▽金剛、▽常磐、摩耶、

▽陸奥、長門、日向、▽霧島、▽榛名、▽沖島

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、萱▲、▽蓼▲、

菱▲、蓬▲、▽綾波、敷波、磯波、▽朧、曙、

潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

呂六一、呂六二、▽呂六八、呂六三、

▽呂六七、呂六五、呂六六、伊六〇、

▽伊二、伊四、伊一、伊三、▽伊六、伊五

掃三▲

▽千鳥、初雁、友鶴▲、真鶴、▽鴻

敷島▲、隱片、知床

(朝潮)▲(夏雲)▲(伊七四)▲

早鞆

呂六四

三隈▲

【長崎】

【馬公】

【富江】

【寺島水道】

【等島水道】

【長崎】

【馬公】

【富江】

【寺島水道】

【等島水道】

海軍公報(部内限) 第二千六百九十二號

昭和十二年八月十八日

七三一

【基隆】 松風、春風、朝風

【高雄】 勝力

【鎮海】 柿

【釜山】 榆

【塘沽】 菊

【大沽沖】 葵、萩

【青島】 芙蓉、朝顔、刈萱

【上海】 出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、鳥羽、二見、保津、堅田

【馬尾】 若竹、吳竹

【厦門】 夕張

【サイパン】 膠州

【オハ】 襟裳

【ナポリ】 磐手、八雲

【作業地】 淀、木曾、長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、川内、高雄、龍驤、鳳翔、加賀、神威、白鷹、足柄、羽黒、那智、迅鯨、北上、五十鈴、妙高、多摩、殿島、衣笠、青葉、大井

【神風】 野風、波風、沼風、初雪、白雪、吹雪、鷹、漣、浦波、狹霧、葎、梅、文月、水無月、長月、臯月、天霧、夕霧、朝霧、菊月、望月、夕月、三月月、夕立

【航海中】

華 (十三日基隆發—佐世保へ)
洲崎 (十四日オハ發—徳山へ)
間宮 (十六日惠比須發—大阪へ)
大鯨 (十七日横須賀發)
早苗 (十七日廣東發—馬公へ)

村雨、五月雨、時雨、有明、白露、夕暮、初霜、子日、若葉、初春、夕風、朝風、響、雷、電、疾風、追風、睦月、卯月、彌生、如月、矢風、山風、海風、伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、伊六五
掃六、掃五、掃一、掃四、掃二、掃二六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八
雉、鷲、鳩、鶻
鳴戸、鶴見、室戸、佐多、攝津

(號外一頁、辭令公報添)

(限 内 部) 1984

海軍公報(部内限)號外

昭和十二年八月十六日發電

軍令部 總長
海軍大臣

部内一般

事變發生以來部内一般克ク其ノ任ヲ竭シ就中上海方面ニ作戦シタル部隊ハ極メテ困難ナル情勢下ニ於テ暴戻ナル支那陸空軍ヲ制壓シテ克ク在留邦人保護ノ大任ヲ盡シツアルニ今又我航空部隊ハ異常ナル天候ノ障碍ヲ冒シ長驅敵空軍ノ本據ヲ衝キ之ヲ撃破セリトノ報告ニ接シ深ク其ノ行ヲ壯トス
惟フニ時局ハ真ニ重大ニシテ前途ハ尙遠遠ナリ益自愛健闘シテ愈帝國海軍ノ武威ヲ發揚シ以テ其ノ大任ヲ全ウセンコトヲ望ム

海軍公報(部内限)號外

昭和十二年八月十八日(水)
海軍大臣官房

海軍公報

(部内限) 第二千六百九十三號

昭和十二年八月十九日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四三一四號

一 海軍軍人軍屬ニシテ今回ノ事變ニ關シ河北省、支那沿岸若ハ揚子江流域ニ派遣セララルモノ又ハ同地域ニ在ルモノニハ戰地ニ派遣セラレ又ハ戰地ニ在ル者トシテ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十二年勅令第四百三十五號ニ依ルノ外海軍戰時給與規則ヲ適用ス

二 前項ノ地域ニ在ル者及別ニ指定スル者ニハ昭和十二年八月一日ヨリ大正七年勅令第三百九十五號第二項ノ規定ヲ適用シ第一表及第二表ニ依リ日用品及時飲食物ヲ給與ス但シ准士官以上、候補生及文官ニハ日用品ヲ給與セズ

三 今回ノ事變ニ關シ繁劇ノ職務ニ従事スル各廳ノ准士官以上、候補生及軍屬ニハ昭和十二年七月十一日ヨリ海軍戰時給與規則第二十條ノ二ノ規定ヲ適用シ現金ヲ支給ス但シ其ノ支給區分ハ第三表ニ依ル

四 海軍戰時給與規則施行細則第八條ノ二第一項ノ規定ニ依リ手當ヲ支給スル場合ニハ海軍大臣ノ認許ヲ受クベシ

五 海軍戰時給與規則施行細則第十六條第一項及海軍戰時旅費規則ハ當分ノ間之ヲ適用セズ

六 海軍工員ニシテ今回ノ事變ニ關シ河北省、支那沿岸若ハ揚子江流域ニ派遣セララルモノ又ハ同地域派遣ノ艦船ニ乗組ノモノニハ戰地派遣ノ者又ハ戰地派遣ノ艦船ニ乗組ノ者トシテ昭和十二年七月七日ヨリ職工臨時給與規則ヲ適用ス但シ同規則第一條ノ規定ニ依ル増給ハ賃錢ノ五割トシ第三條ノ二ノ規定ニ依リ手當ヲ支給スル場合ニハ海軍大臣ノ認許ヲ受クベシ

職工臨時給與規則中工員ニシテ戰時編成ニ依ル艦船ニ乗組ノモノニ關スル規定ハ當分ノ間之ヲ適用セズ

昭和十二年八月十九日

海 軍 大 臣

海軍公報(部内限) 第二千六百九十三號

昭和十二年八月十九日

七三三



- 一 詰切ヲ命ゼラレタルトキ又ハ居殘服務ヲ命ゼラレ
執務午後六時以後ニ及ブトキ但シ詰切服務者及居殘
服務翌朝ニ及ブ者ニハ二食分ヲ給ス
- 二 公暇日ニ出勤ヲ命ゼラレ執務四時間以上ニ及ブト
キ但シ執務午後六時以後ニ及ブ者ニハ其ノ食數ニ應
ジ二食分ヲ支給スルコトヲ得
- 三 公暇日詰切服務者ニハ其ノ食數ニ應ジ三食分迄支給
スルコトヲ得
- 四 糧食若ハ他ノ規定ニ依ル食料又ハ旅費ノ支給ヲ受
クル者ニハ本表ノ食料ヲ支給セズ
- 五 勤勉手当ノ支給ヲ受クル者ニ對シテハ當日ノ勤勉
手当ト本表ノ食料トヲ比較シ其ノ多額ニ付之ヲ支給
ス
- 六 軍屬タル囑託者ハ其ノ受クル待遇官等ニ依ル
- 七 本表ニ依ル食料ヲ支給シタルトキハ所轄長ハ毎月
末受給者ノ詰切日數又ハ居殘服務時間、金額、事由
等ヲ所屬長官ニ報告シ所屬長官ハ其ノ官等別員數、
金額及居殘ノ事由ヲ海軍大臣ニ報告スルモノトス

官房機密第三二四五號 昭和十二年六月十九日
ニテ本號廢止
左ノ艦船部隊及特設艦船部隊ニ勤務スル軍人軍屬

海軍公報(部内限)第二千六百九十三號

昭和十二年六月十九日

七三五

- (一) 特設聯合航空隊及特設航空隊ニシテ内地外ニシ
テ戰地外ノ基地ニ在ルモノ
本隊前項ノ基地ニ向ケ内地最終ノ港灣又ハ基地出
發ノ日ヨリ初メテ内地歸著ノ日又ハ給與停止ノ前
日迄
- (二) 内地ニ在ル艦船及特設艦船ニシテ今回ノ事變ニ
關シ軍隊又ハ軍需品等輸送ノ爲朝鮮、臺灣又ハ關
東州ニ出動シタルモノ
目的地ニ向ケ内地最終港灣出港ノ日ヨリ初メテ内
地港灣ニ歸著ノ日又ハ其ノ任務終了ノ日若ハ給與
停止ノ前日迄
- (三) 内地、朝鮮又ハ關東州ニ在ル艦船部隊及特設艦
船部隊ニシテ陸軍ノ輸送警戒又ハ護衛ノ任務ニ從
事シタルモノ
戰地以外ノ地域ニ向ケ内地、朝鮮又ハ關東州ニ在
ル最終港灣出港ノ日ヨリ初メテ其ノ地ノ港灣ニ歸
著ノ日又ハ其ノ任務終了ノ日若ハ給與停止ノ前日
迄

海軍公報(部内限) 第二千六百九十三號 昭和十二年八月十九日

七三六

二 左ノ艦船部隊及特設艦船部隊ニ勤務スル軍人軍屬ニシテ本年勅令第四百三十五號ニ依ル増俸ヲ受ケザルモノニハ各指定ノ期間海軍戦時給與規則第六條ノ規定ニ依ル増俸ヲ支給ス

(一) 内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ在ル艦船部隊及特設艦船部隊ニシテ今回ノ事變ニ關シ待機ヲ命ゼラレタルモノ

待機命令受領ノ日ヨリ命令解除ノ日又ハ給與停止ノ前日迄

(二) 聯合艦隊又ハ第三艦隊ノ艦船部隊及特設艦船部隊ニシテ前號ニ該當セザルモノ

昭和十二年七月二十八日以降給與停止ノ前日迄但シ別ニ期間ヲ指定スルモノヲ除ク

三 第一項第一號ニ該當スル者ニハ昭和十二年八月一日以降増俸ノ支給ヲ受クル期間本年官房第四三二四號ヲ適用シ日用品及臨時飲食物ヲ給與ス

附 則

本令ハ昭和十二年七月七日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十二年八月十九日

海 軍 大 臣

官房機密第三二四六號ニテ本年官房機密第三二四六號ノ左記艦船ニ勤務スル軍人軍屬ニハ昭和十二年七月二十八日以降當分ノ間本年官房機密第三二四五號第二項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

昭和十二年八月十九日

海 軍 大 臣

記

軍 艦 烏 海

伊號第二潜水艦

伊號第四潜水艦

官房機密第二九一九號ノ三

昭和十二年官房機密第三二四五號ノ三

本年官房機密第二九一九號ノ二昭和十二年度非

費ヲ以テ經費ヲ支辨スベキ各部中左ノ通追加ス

昭和十二年八月十九日

海 軍 大 臣

第一號中「特設運送船」ノ下ニ「特設港務部、特設病院船、特設病院」ヲ加フ

○ 通 牒

經給第二七號

昭和十二年八月十九日

海軍省 經理局

關係各廳御中

戰時給與取扱方ニ關スル件通知

今回ノ事變ニ關シ海軍戰時給與規則、大正七年勅令第三百九十五號及本年勅令第四百三十五號ヲ適用セラシムルコトト相成候ニ付テハ之ガ取扱方概ネ左記ノ通御承知相成度

記

一 適用範圍、時期及法規

(一) 河北省、支那沿岸若ハ揚子江流域ニ派遣セララル者又ハ同地域ニ在ル者ニ對シテハ戰地ニ派遣セララル者又ハ戰地ニ在ル者トシテ昭和十二年七月七日ヨリ本年勅令第四百三十五號及海軍戰時給與規則ノ適用アリ但シ本年官房第四三一四號ニ依リ海軍戰時給與規則施行細則第十六條第一項ノ規定ハ當分ノ間適用セラレズ

前項ノ地域ニ在ル者ニ對シテハ大正七年勅令第三百九十五號第二項ノ適用アリ但シ准士官以上、候補生及文官ニ對シテハ日用品ヲ給與セラレズ

(二) 前號ノ地域ニ在ラザルモ特別ノ命令ニ依リ對敵行動ヲ取ル者ニ對シ本年勅令第四百三十五號、海軍戰時給與規則及大正七年勅令第三百九十五號第二項ヲ適用スル場合ハ其ノ都度之ヲ指定セララル

(三) 豫備後備ノ軍籍ニ在ル准士官以上ニシテ本年七月七日以後召集ニ應ジ就職スル者ニハ海軍戰時給與規則第十條ノ規定ノ適用アリ但シ其ノ給額ハ本年勅令第四百三十五號ノ定ムル所ニ依ル

(四) 准士官以上、候補生及文官ニシテ今回ノ事變ニ關シ第一號ノ地域ニ一時往復スル艦船乗組ノモノ又ハ公務ニ依リ同地域ニ旅行スルモノニハ本年七月七日以後海軍戰時給與規則第九條第三項ノ規定ノ適用アリ但シ其ノ給額ハ本年勅令第四百三十五號ノ定ムル所ニ依リ其ノ支給ニ關シテハ本年官房第四三一四號第四項ノ制限アリ

(五) 今回ノ事變ニ關シ繁劇ノ職務ニ従事スル各應勤務ノ准士官以上、候補生及軍屬ニハ本年七月十一日ヨリ海軍戰時給與規則第二十條ノ二ノ規定ノ適用アリ但シ其ノ支給區分ハ本年官房第四三一四號第三表ノ定ムル所ニ依ル

(六) 海軍工員ニシテ今回ノ事變ニ關シ第一號ノ地域

海軍公報(部内限) 第二千六百九十三號

昭和十二年八月十九日

七三七

ニ派遣セラルルモノ又ハ同地域ニ派遣セラルル艦船ニ乗組ヲ命ゼラレタルモノニ對シテハ本年七月七日ヨリ職工臨時給與規則ノ適用アリ但シ増給率及同規則第三條ノ二ノ規定ノ適用ハ本年官房第四三一四號ノ定ムル所ニ依ル

二 増俸又ハ増給

海軍戰時給與規則第二條第一項ニ依ル増俸又ハ増給ハ本年勅令第四百三十五號ニ依リ左ノ區別ニ依リ支給ス

- (一) 准士官以上、候補生及文官ニハ俸給ノ十分ノ三但シ准士官以上、候補生ニシテ増俸月額三十圓ニ滿タザル者ニハ月額三十圓、判任文官ニシテ同月額二十五圓ニ滿タザル者ニハ月額二十五圓トス
- (二) 下士官兵及雇員傭人ニハ俸給又ハ給料ノ十分ノ四

三 手當金

(一) 海軍戰時給與規則第九條及第十條ニ該當スル者ニハ本年勅令第四百三十五號ニ規定スル額但シ第九條第三項ニ該當スル者ニ對シテ手當ヲ支給スル場合ニハ海軍大臣ノ認許ヲ受クルヲ要ス職工臨時給與規則第三條ノ二ニ依ル手當ニ付亦同ジ

海軍戰時給與規則第九條第二項ニ該當スル雇員傭人ニ對シテハ當分ノ間海軍大臣ニ於テ特ニ必要ト認ムルモノノ外手當ヲ支給セラレズ

(二) 海軍戰時給與規則第九條ノ規定ニ依ル手當ノ支給ヲ受クル者ニハ平時旅費トシテ支給ヲ受クベキ

支度料ハ之ヲ支給セズ但シ本年七月七日ヨリ同八月十九日（本年勅令第四百三十五號公布ノ日）迄ノ間ニ於テ平時旅費トシテ支度料ノ支給ヲ受クベキ事由ノ發生シタル者ニシテ同期間内ニ支度料ノ支給ヲ受ケタルモノニ對シテハ其ノ支度料ヲ以テ手當ニ代ヘ支度料ニシテ手當額ヨリ少額ナルトキハ其ノ差額ヲ手當トシテ支給ス

(三) 海軍戰時給與規則第九條第一項及第二項ニ依リ

手當ノ支給ヲ受クベキ者其ノ事由發生前一年以内ニ平時旅費トシテ支度料ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ本年勅令第四百三十五號第一表備考第五號ノ定ムル所ニ依リ同表ノ半額（第二項ニ該當スル者ニシテ同表ニ該當スル金額ナキモノハ其ノ支給スベキ額ノ半額）ヲ支給ス但シ支度料ト合シテ同表ノ金額（同表ニ該當スル金額ナキモノハ其ノ支給スベキ額）ニ滿タザルトキハ其ノ額ニ達スル迄

支給ス

海軍戦時給與規則第九條第三項本文又ハ同條第四項ニ依リ手當ノ支給ヲ受ケタル者新ニ同條第一項ノ規定ニ該當スル場合ハ其ノ差額ヲ差繼支給ス但シ海軍戦時給與規則施行細則第八條ノ三ニ該當スル場合ハ全額ヲ支給ス
前項ノ場合ニ於テ手當金ノ基礎額ニ異動ヲ生ジタル者ニ付テハ現在ノ官等ニ付定メラレタル額ト比較シテ之ヲ定ム

四 航海加俸

今回ノ事變ニ關シ支那沿岸及揚子江流域ニ派遣セラレタル艦船乗員(一時往復ノ艦船乗員ヲ除ク)ニ對シテハ在外海軍部隊艦船臨時給與令第十二條ノ規定ノ適用アリ

五 戦時特別給與品

戦時特別給與品ハ一人一箇月ニ付日用品三十錢飲食物二圓ノ範圍内トシ期間一箇月ニ滿タザルトキハ日割計算ニ依リ算出シタル金額以内ニ於テ處辨スルモノトス

六 被服糧食

被服ニ關シテハ本年官房第四三一四號ニ依リ海軍戦

時給與規則施行細則第十六條第一項ノ適用ナキ外規定ノ通

經豫機密第三號ノ五

昭和十二年八月十九日

海軍省經理局長

關係各支出官
資金前渡官吏 殿

昭和十二年度北支事件費整理區分ノ件通牒

本年經豫機密第三號ノ四昭和十二年度北支事件費整理區分中左ノ通追加セラレ候

二イ(一)中

「及特設防備隊員」ヲ、「特設防備隊員、特設港務部職員及特設病院職員」ニ改メ

(四)中

「特設運送船乗員」ノ下ニ「及特設病院船乗員」ヲ、

(五)ノ次ニ

「(六)明治二十七年勅令第三百三十六號及昭和十二年勅令第四百三十五號ニ依ル増俸」ヲ加ヘ

ハ(一)中

「特設運送船」ノ下ニ「特設港務部、特設病院船、

特設病院」ヲ加ヘ

(二)中

「及特設防備隊」ヲ「、特設防隊、特設港務部及特設病院」ニ改メ

(七)ノ次ニ

〔八〕明治二十七年勅令第三百三十六號及昭和十二年勅令第四百三十五號ニ依ル手當金

〔九〕明治二十七年勅令第三百三十六號及昭和十二年勅令第四百三十五號ニ依ル増給」ヲ加ヘ

ニ中

(二)ノ次ニ「(三)明治二十七年勅令第三百三十六號ニ依ル食料」ヲ加ヘ

へ(一)中

「及特設運送船」ヲ「、特設運送船及特設港務部」ニ改メ

(四)ノ次ニ

〔五〕特設病院及特設病院船ニ於テ要スル療用品費、藥劑費並ニ傳染病豫防及消毒諸費」ヲ加ヘ

ト(二)中

「及特設運送船」ヲ「、特設運送船、特設港務部、特設病院船及特設病院」ニ改メ

(六)ノ次ニ

〔七〕明治二十七年勅令第三百三十六號及昭和十二年勅令第四百三十五號ニ依ル増給」ヲ加ヘ

ヲノ次ニ

「カ戰時特別給與品費

大正七年勅令第三百九十五號ニ依リ給スル分」ヲ加フ

○ 雜 款

○郵便物發送先
特務艦室戸宛

自 今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

追テ室戸病院關係ノモノハ「室戸病院」ト明記ノコト

○艦船所在

指印ハハホフ
定定ヲ要セズ

○八月十九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、鳥海、愛宕、那珂▲、阿武隈▲、▽山城、春日、駒橋

沖風▲、峯風▲、▽島風▲、夕風▲、灘風▲

羽風、秋風、▽太刀風、夕風

伊七、呂五八▲、▽伊二四、伊二三

富士▲、尻矢、野島

(鈴谷)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九

(雁)▲

【浦賀】 (涼風)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 帆風▲

【函館】 大泊▲

【吳】 矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、▽扶桑、伊勢、球磨

夕顔

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

▽伊二二、伊二一、▽呂三三、呂三四、

▽伊五三、伊五四、▽伊五八、伊五六、

伊五七、伊七一

石廊

(蒼龍)▲、(千歲)▲、(熊野)▲

【大阪】 古鷹▲

問宮

【神戶】 (滿潮)▲、(山雲)▲

▽伊六三▲、伊五九、▽伊七二、伊七三

(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 能登呂▲

【因島】 ▽薄▲、葛、藤

【江田内】 平戸、淺間

【舞鶴】 吾妻▲

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

(春雨)▲、(大潮)▲

【佐世保】 赤城▲、加古、長良、▽金剛、▽常磐、摩耶、

▽陸奥、日向

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽麥▲、

菱▲、蓬▲、▽綾波、敷波、磯波、▽朧、曙

潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

呂六一、呂六二、▽呂六八、呂六三、

▽呂六七、呂六五、呂六六、伊六〇、

▽伊二、伊四、伊一、伊三、▽伊六、伊五

掃三▲

▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▽鴻、隼

敷島▲、隱戸、知床、早鞆

(朝潮)▲、(夏雲)▲、(伊七四)▲

【富江】 呂六四

【長崎】 三隈▲

【馬公】 嵯峨▲

▽松風、春風、朝風、早苗

海軍公報(部内限)第二千六百九十三號

昭和十二年八月十九日

七四一

【基隆】 旗風

【高雄】 勝力

【釜山】 榆

【塘沽】 菊

【大沽沖】 葵、萩

【青島】 天龍、龍田

【上海】 芙蓉、朝顔、刈萱

【上海】 出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、鳥羽、二見、保津、堅田

【馬尾】 若竹、吳竹

【厦門】 夕張

【サイパン】 膠州

【ナポリ】 磐手、八雲

【作業地】 淀、木曾、長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、川内、高雄、龍巖、鳳翔、加賀、沖島、神威、白鷹、足柄、羽黒、那智、迅鯨、北上、五十鈴、妙高、多摩、嚴島、衣笠、青葉、大井、長門、霧島、榛名

【霧島】 野風、波風、沼風、初雪、白雪、神風、吹雪、曉、浦波、狹霧、葦、梯、梅、吹雪、水無月、長月、皐月、天霧、夕霧、文月、水無月、長月、皐月、天霧、夕霧、朝霧、菊月、望月、夕月、三月月、夕立、村雨、五月雨、時雨、有明、白露、夕暮、初霜、子日、若葉、初春、夕風、朝風

【航海中】

洲崎 (十四日「オ」發—徳山—)

大鯨 (十七日横須賀發)

襟裳 (十八日「オ」發—徳山—)

響、雷、電、疾風、追風、陸月、卯月、彌生、如月、矢風、山風、海風、江風、伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、伊六五、掃六、掃五、掃一、掃四、掃二、掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八、雄、鷲、鳩、鶴、鳴戸、鶴見、室戸、佐多、攝津、朝日

(辭令公報添)